

ダイハツのサポカー ラインナップ



スマアシ
ダイハツ車安全装備



スマアシ
最新技術支援システム
III



スマアシ
最新技術支援システム
IIIt



■次世代スマートアシスト・スマートアシストⅢ・スマートアシストⅢtの機能について、詳しくは販売会社スタッフ、もしくはWEBサイトの各車種紹介ページをご覧ください。
■車両画像は2020年3月時点のものです。ボディカラーや装備は予告なく変更することがあります。

本制度の詳細は、変更となる場合がございます。
詳しくは、販売会社・スタッフへお問合せください。

65歳以上の方を対象とした 「サポカー補助金」 がスタートします。

サポカー・サポカー-Sとは?

政府は衝突被害軽減ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した車に「セーフティ・サポートカーS(サポカー-S)」の愛称をつけ、高齢運転者の交通事故防止対策の一環として、普及啓発に取り組んでいます。



セーフティ・サポートカー
【サポカー】

衝突被害軽減ブレーキを
搭載した、全ての運転者に
推奨する自動車



セーフティ・サポートカーS
【サポカー-S】

衝突被害軽減ブレーキに加え、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した、
特に高齢運転者に推奨する自動車



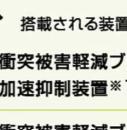
セーフティ・サポートカーS
【サポカー-S】

衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1、
車線逸脱警報※2、先進ライト※3



セーフティ・サポートカーS
【サポカー-S】

衝突被害軽減ブレーキ(対車両)、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1



セーフティ・サポートカーS
【サポカー-S】

低速衝突被害軽減ブレーキ(対車両)※4、
ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1

※1:マニュアル車は除く。※2:車線維持支援装置でも可。※3:自動切替型前照灯、自動防眩型前照灯
または配光可変型前照灯をいう。※4:作動速度域が時速30km以下のもの。

サポカー補助金のご案内

サポカー補助金とは、65歳以上の高齢運転者が、安全運転サポート車の購入などをする際、新車購入で最大10万円、中古車で最大4万円、後付け安全装置搭載で最大4万円の購入補助金を交付する制度です。

対象者	新車(リースも対象)		中古車(リースも対象)	後付け安全装置 (つくづく防止)	
	登録車	軽自動車			
適用条件	自家用自動車については、補助金の交付は1人につき1台限りです。法人名義での購入は対象外となります。				
申請対象	2019年12月23日から		2020年3月1日から		
適用条件	新車新規登録	新車新規検査届出	新規登録/新規検査届出・名義変更	取り付け	
対象車と補助金	審査委員会の審査を経た車両・グレードが対象となります。			後付けペダル踏み間違い 急発進等抑制装置の 搭載車が対象となります。	
要件	衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者) + ペダル踏み間違い急発進等抑制装置 搭載車			検知センサー有	
① ダイハツ対象車	「次世代スマアシ」、「スマアシⅢ」(ハイゼットカーゴMT車除く)、「スマアシⅢt」(ハイゼットトラックAT車)搭載車、アルティス			※5	
補助金	10万円	7万円	4万円	4万円	
要件	衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者) 搭載車			検知センサー無	
② ダイハツ対象車	ハイゼットカーゴMT車「スマアシⅢ」、ハイゼットトラックMT車「スマアシⅢt」搭載車、メビウス			—	
補助金	6万円	3万円	2万円	2万円	
申請期間等	車両登録・届出・名義変更、後付け安全装置取り付けの後、1ヵ月以内に審査機関に申請が受理される必要があります。 また交付決定後、申請者に直接交付されます。				
	予算申請総額が、予算額を超過次第、募集終了となります。				

★サポカー補助金の詳細は、販売会社・スタッフまでお問合せください。※5:後付け安全装置「つくづく防止」の対象車は販売会社・スタッフまでお問合せください。

安全・安心をみんなのものに。

安全・安心を、限られた人ではなく、クルマに乗るすべての人にお届けしたい。
だからダイハツは予防安全機能「スマートアシスト」と後付け安全装置「つくつく防止」を幅広い車種に展開できるように開発し、さらなる安全性を求めて進化させてきました。

新車に先進の安全・安心を。

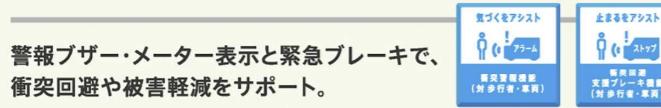


予防安全機能や運転支援機能を搭載した「スマートアシスト」

気づく・止まるをアシスト

衝突警報機能(対歩行者・車両)/ 衝突回避支援ブレーキ機能(対歩行者・車両)

警報ブザー・メーター表示と緊急ブレーキで、衝突回避や被害軽減をサポート。



ちょっと目を離した隙に、危ない思いをしたことがあるから、万が一の時も助かるわ。



飛び出さないをアシスト

誤発進抑制制御機能(前方・後方)

誤って発進した場合には、エンジン出力を抑制。さらに衝突の危険性が高まると、ブレーキ制御が作動。



アクセルとブレーキのペダルを踏み間違えそうになる時があるけど、いざという時、急発進を防いでくれるね!



※車種やグレード、オプションなどによって搭載される機能が異なります。詳しくは販売会社スタッフ、もしくはWEBサイトの各車種紹介ページをご覧ください。

▲スマートアシストに頼った運転は絶対に行わないでください。スマートアシストは、ドライバーの判断を補助し、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。誤見運転やぼんやり運転などドライバーの前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良での運転を支援する装置ではありません。また、あらゆる状況での衝突を回避するものではありません。運転時は常に先行車や歩行者の距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど距離を保ち、安全運転を心がけてください。■スマートアシストの認識性能・制御性能には限界があります。ドライバーの運転操作、急カーブ、急勾配、雨等の道路状況、および天候によっては、システムが作動しない、または作動が遅れる場合があります。■雪、氷、砂漠の場所や、トンネル内、夜間、日射しの状況によってはステレオカメラ、ソナーセンサーが障害物などを正常に認識できず、適切に作動しない場合があります。■作動条件下であっても、システムが作動しない場合があります。■このほか、スマートアシストについて重要な注意事項が記載されておりますので、詳しくは取扱説明書をご覧ください。■スマートアシストの詳細は販売会社スタッフにお問い合わせください。

お乗りのクルマに安全・安心を。



いまお乗りのクルマに後付けできる ペダル踏み間違い時加速抑制装置「つくつく防止」

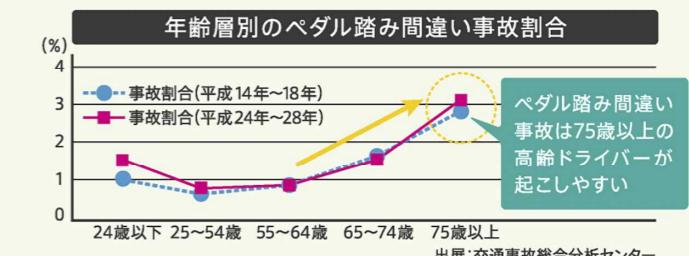
「つくつく防止」急発進抑制のしくみ

車体の前方と後方に計4カ所のソナーをつけることで目の前の障害物を検知。障害物を検知した状態であれば、アクセルを強く踏み込んでしまっても燃料カットされ、急発進を抑制し(約8秒間エンジン出力を抑えます)エンジン出力抑制とブザーで、被害軽減をサポートします。



高齢者に多発する ペダル踏み間違い事故

近年、高齢ドライバーの事故が増加傾向。高齢ドライバーに多い事故の特徴として、ペダルの踏み間違い事故があり、その増加が懸念されています。



適用車種: タント[L375S系] (2007年12月～2013年9月)、ムーヴ[L175S系] (2006年10月～2010年12月)、ムーヴ[LA100系] (2010年12月～2012年12月)、ミラ[L275S系] (2006年12月～2013年2月)、ミラコア[L675S系] (2009年7月～2018年2月)、ミライース[LA300系] (2011年9月～2013年8月)、ムーヴコンテ[L575S系] (2008年8月～2017年1月)、タントエグゼ[L455S系] (2009年12月～2014年9月)
※適用車種のCVT車のみ装着できます。またグレード・装備等によって装着できない場合があります。ミラバンには装着できません。詳しくは販売会社スタッフにお問い合わせください。

▲ペダル踏み間違い時加速抑制機能には限界があります。加速抑制機能は確実な安全運転を心がけてください。加速抑制機能は衝突を回避するものではありません。発進時はシフトレバーやペダルの位置および周囲の安全を十分に確認して操作してください。機能に頼っていると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶことがあります。■加速抑制機能は停止状態を保つものではありません。■加速抑制機能は、車速約10km/h以下で、約3m以内に障害物がある状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合に、エンジン出力を抑制します。■条件の違いにより、加速抑制機能が作動しないことがあります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。■衝突の可能性がなくとも加速抑制機能が作動する場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。■ペダル踏み間違い時加速抑制機能の詳細については、販売会社スタッフにお問い合わせください。